

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 02 04	中期総合計画主要施策番号		2-04	担当課	部・課	林務部 信州の木振興課	
事業名		林業改良普及事業					内線	3235	
							E-mail	ringyo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	林業改良指導員が森林所有者等に森林・林業に関する技術・知識を普及し、健全な森林の造成や林業の振興に資する。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 健全な森林の造成や林業振興のため、森林・林業に関する正しい技術・知識が必要である。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 産業としての林業の低迷や森林所有者の高齢化、過疎化、後継者不足により林業技術等の低下が進んでいる。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 森林所有者への技術・知識を普及するとともに、林業改良指導員の資質の向上を図る必要がある。							
	事業内容	森林所有者への普及啓発活動を一層強化するとともに、協力者と連携して効率的な活動を展開する。 技術指導、地区懇談会、研修会・講習会、講習会、指導員研修等の開催							
実施期間	S33	～	根拠法令等	森林法・林業普及指導実施方針					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	森林所有者等に森林・林業に関する技術・知識を普及し、健全な森林の造成や林業の振興に資する。		林業改良指導員による次のような活動を展開する。 ・地区懇談会開催回数 600回 ・研修会・講習会開催回数 600回			林業改良指導員による次のような活動を展開した。 ・地区懇談会開催回数 633回 ・研修会・講習会開催回数 565回		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	4,771	3,609	3,412	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	4,691	3,609		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	2,695	1,805	1,707	歳出節別	賃金:633 旅費:1,967 需用費:714 ほか	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	63.00	64.00	67.00	内訳等		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	454,511	461,145	482,395	(単位: 千円)		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	林業普及指導職員数		人	63	64	67	延べ4,106人に対し個別指導を行った。		
	地区懇談会開催数		回	697	633	600			
	研修会・講習会開催数		回	583	565	600			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・アクションプランに基づき年々増加する森林整備、地域の林業を再生させるための山元から消費地に至るまでの一連の取組み、森林づくり県民税活用事業の円滑な執行など、当事業へのニーズは増している。 ・限られた予算・人員で対応するため、業務の選択と集中や関係者との連携と役割分担など効率化を図る工夫が必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		・当事業では、現地機関の林業改良指導員が直接森林所有者等に接し、森林・林業に関わる知識・技術の普及、地域内の多様な人々の連絡調整、地域の主体的な活動を支援することを基本として、行政課題に対応した事業を展開しているが、業務や対象者が多様化する中で、業務の選択と集中や関係者との連携強化による役割の移譲などによる、業務執行の一層の効率化が求められる。 ・当面は、森林所有者や関連事業体等への働きかけを強化するとともに、森林づくり県民税活用事業の円滑な執行を通じ、信州の森林づくりアクションプランの着実な実行を確保する。							